



ASC 加工流通過程モジュール第 1.0 版

よくある質問

2022 年 8



1. ASC 加工流通過程 (CoC: Chain of Custody) モジュールの有効期限はいつですか？

CoC モジュールは 2022 年 5 月 30 日に発表されました。1 年後の 2023 年 5 月 30 日に発効となります。企業は、2023 年 5 月 30 日以降の最初の審査までに、新しい要件に準拠する必要があります。

2. ASC のどの CoC 文書が提案要件の影響を受けますか？

CoC 基準、CoC 認定要件、一般認定要件、用語集などを含む CoC モジュールが、今回の追加対照となります。

3. ASC が CoC 追加要件を導入したのはなぜですか？

追加要件は、水産物偽装、食品の安全性、抗生物質その他の化学物質の使用といった、緊急の問題に対処するための新しい保証活動

およびツールセットの一部です。また、人が管理する情報や制御する環境など、養殖場での生産には天然の水産物とは異なる本質的な違いがあることが理由のひとつで、追加要件が必要とされます。新要件では、デジタル化されたトレーサビリティ (追跡可能性) あるいは製品認証といった技術の活用方法を規定することによって、「グローバル・ベスト・プラクティス」すなわち国際的に最も適正とされる慣行を反映すること、そして、「イノベーション」すなわち私たちの社会を変える革新的な仕組みを取り入れること、を目指しています。

4. ASC の CoC モジュールの内容は何ですか？

モジュールの主な内容を幾つかご紹介します。

- ASC 認証水産物の加工・包装を行う施設は、その規模に基づいて組織が免除を受けた場合を除き、「世界食品安全イニシアチブ (GFSI) 認証スキーム」または ISO 22000 の認証を受けること。
 - すべての認証書の所有者は、食品の偽装脆弱性評価および介入計画を実施すること。
- すべての認証書の所有者は、「ASC のキー・データ・エレメント・プロジェクト (ASC Key Data

Element Project) 」に合わせて、特定のデータを ASC に報告すること。

- 認証を受けた養殖場から直接購入を行う認証所有者は、CoC が養殖場から最初の購入者まで途切れなく適用されていることを確認し、該当する製品の適格性要因を考慮すること。
- (違法または不正行為を含む) 不適格基準に関する透明性のある一覧を導入し、不適合となった場合に、組織が認証を受けたり、認証を保持することを防ぐこと。
- 法的要件または ASC 要件を満たさない企業や製品が出た場合に対処する、より強力な体制。
- リスク主体の手法の導入による抜き打ち審査の活用を拡大。
- 水産物偽装を包括した新定義。

5. ASC の CoC モジュールにより、どのような影響が出ますか？

CoC モジュールの所有者は、既存の MSC の CoC 要件に加えて、新しい要件に準拠する必要があります。適合性評価機関 (CAB) は、MSC 要件に加えて、CoC 審査で新しい要件を審査する必要があります。その結果、ASC 認証製品の信頼性が改善され、ASC ロゴを信頼する参加者や顧客に、より多くの価値とより高いレベルの保証を提供できます。

6. ASC の CoC モジュールに関する詳細情報はどこで入手できますか？

ASC トレーサビリティ (追跡可能性) ページから [ASC CoC モジュール v1.0 スキーム文書](#)、公式発表ステートメント、およびスキーム文書の翻訳をご確認ください。プレスリリースは、[ASC のウェブサイト](#) および [MSC のウェブサイト](#) でご覧いただけます。CoC モジュールの開発プロセスに関する情報は、[CoC モジュールページ](#) でご覧いただけます。ここには、パブリックコンサルテーションの概要、改訂レポート、および回答の付属資料が含まれています。

7. ASCのCoCモジュールは、グループやCFOなど、すべての種類のCoC認証書に適用されますか？

はい、CoCモジュールはすべての種類のCoC認証書に適用されます。ただし、要件によっては特定の活動（例：加工業者および水産物出荷業者向けのGFSI認証スキームまたはISO 22000、質問9を参照のこと）、あるいは養殖場から直接購入する企業にのみ適用されるものがあります。

8. ASCのCoCモジュールは、海藻を取引または処理する企業に適用されますか？

いいえ、このモジュールは海藻のみを対象とする企業には適用されません。

9. どの企業が、GFSI認証スキームまたはISO 22000認証書を取得して、CoC認証を維持する必要がありますか？

食品安全要件は、CoC認証の対象範囲内で加工、契約処理、または包装や再包装活動のいずれかを行うCoC認証書の所有者に適用されます。これらの活動は、CoC認証要件(CR)v3.1の「表4：活動対象範囲の定義」で定義されています。指定された活動を実施する施設のみが、GFSI認証またはISO 22000認証の対象となる必要があります。

組織の対象範囲には、認証を受けていない下請け業者の活動など、認証製品に関して行われる全活動を含めなくてはなりません（輸送を除く）。

CoC CR v3.1の表4では、「加工」の定義から「消費者への小売り」および「飲食店での外食や消費者による食品のテイクアウト」の活動は除外されています。これは、「消費者への小売り」または「飲食店での外食や消費者による食品のテイクアウト」活動を行う消費者向けの施設が、全般として対象範囲にある加工を行っておらず、したがって、消費者向けのGFSI認証スキームまたはISO 22000認証を取得する必要がないためです。

活動8 加工	一次加工、二次加工、付加価値加工、魚の調理、または製品の形を変更、その他の活動を含むあらゆる加工例が含まれます（以下の10、11、および12で行われる活動を除く）。
活動11 消費者への小売	ここでは、小売店の鮮魚販売カウンター、または消費者に直接販売を行う魚屋や市場が含まれます。製品は、それを消費者が持ち帰り調理してから食べるもの、あるいは、従来の「小売」環境で販売されているものになります。
活動12 飲食店での外食や消費者による食品のテイクアウト	現場で魚の調理が行われ、「すぐに食べられる」ものとして消費者に直接販売される、あるいは、現場で消費者がそれを口にできる、フィッシュ・アンド・チップス店のような、標準的なレストランやファースト・フードといった食品や食事を提供する環境のすべてが含まれます。

10. なぜASCはGFSI認証スキームとISO 22000のみを選択したのですか？

コンシューマー・グッズ・フォーラム (CGF) 世界食品安全イニシアチブ (GFSI) は、消費者が購入する食品の安全性を信頼できるようにするため、2000年に設立されました。GFSIによって承認された食品安全スキームは、幸運にも、世界で最も広く受け入れられている食品安全制度のベンチマークのひとつとして評価されてきました。GFSI認証は、承認された各基準の内容および適用が高品質で一貫性のあるものであることを保証するものです。GFSIは、ベンチマークプロセスへの参加を希望するあらゆるスキームで利用できます。

世界食品安全イニシアチブが認めるスキームに加えて、ASCは、パブリックコンサルテーションに従い、基準に合うスキームを拡げてISO 22000も導入することにしました。コンサルテーションから得られた情報では、多くの企業がすでにISO 22000認証を取得しており、このことから、これがASCの食品安全目標を達成するのに十分に力を持つものであることが分かりました。ASCがGFSIの認証スキームに加えてISO 22000認証を受け入れたことで、認証書の所有者全体への本要件の影響が低く抑えられます。

11. ASC は、提案された GFSI 認証スキームまたは ISO 22000 認証要件が小規模の企業に及ぼす影響を考慮していますか？

はい。審査報告のレビュー、アンケート、およびインタビューによる影響審査から、CoC 認証書の所有者の大多数がすでに GFSI 認証スキームまたは ISO 22000 認証を取得していることが分かっています。この要件は、影響を低く抑えるため、リスクが高めの活動を行う施設にのみ適用されます。

(例：水産物の加工や包装施設)

パブリックコンサルテーションで得られた情報に従い、ASC ではまた、年間水産物売上高が 200 万ユーロ未満、または年間水産物取引量が 200 トン未満、または水産物事業の従業員が 50 人未満（ピーク時を含める）の小規模企業に対して、食品安全要件の免除を行いました。

免除の対照となるには、3 つの閾値のうち 1 つを満たすことが必要です。免除の閾値は、認証済みおよび非認証の水産物を含む、企業の水産物事業全体に関係するものです。

12. GFSI 認証スキームまたは ISO 22000 認証が失効または無効となった場合はどうなりますか？

この場合、GFSI が承認したスキーム認証が再び有効になるまで、ASC の CoC 認証は一時停止されます。企業が MSC 製品も扱っている場合、ASC 対象範囲のみに影響が出ます。MSC の CoC 認証は引き続き有効です。

13. 新しい不適格基準が設けられたのは、ASC が認証決定に関与するからですか？

いいえ、ASC は認証決定には関与せず、独立した CAB が認証のステータスについて全責任を負います。CoC モジュールには、きっかけとなる出来事があった場合に、企業が認証を受ける、あるいは認証を維持することを不適格とする、透明性ある基準一覧が含まれています。基準が適用される客観的な証拠がなければなりません。ASC は、客観的な証拠に基づいて、基準の適用を判断できます

が、CoC 認証を一時停止できるのは CAB のみです。

14. MSC へ対象範囲が拡張されても、ASC の CoC 認証を取得できますか？

はい、CoC 認証要件 v3.1 の条項 11.2.5 に基づく現在のプロセスに従って、範囲を拡張しても引き続き、ASC の CoC 認証は対象となります。これには、CAB が入手可能な情報を確認し、現地審査が必要かどうかを決定する必要があります。こうした対象範囲の拡張は、CAB の決定に従い、遠隔(リモート)から行えることが多いと予想されています。

15. ASC の CoC モジュールは、MSC の CoC と同じチェックリストで審査されますか？

はい、CoC モジュールは、モジュールが有効になる 2023 年 5 月 30 日までに MSC のサプライチェーン審査プラットフォームに含まれるため、1 種類の認証および審査プロセスのままとなります。

16. 提案された要件により、私の MSC の CoC 認証に影響が出ますか？

いいえ、ASC の CoC モジュール要件は、ASC の CoC 認証にのみ適用されます。ASC の CoC モジュール要件のために認証が一時停止された場合でも、MSC の CoC 認証には影響が出ません。

17. ASC がこれらの要件を追加しているのに、MSC が追加しないのはなぜですか？

MSC は、ASC が変化する水産養殖の市場要件に対応しなくてはならないことを認識しています。MSC は、方針策定に関する ASC の CoC モジュールを用いて ASC を支持し、直接協力しています。ASC から提案された要件の多くは、天然水産物や水産養殖サプライチェーンなど、今後の方針を検討するためのトピックとして特定されています。ただ、2019 年に完了した MSC の CoC 制度の見直しによる変更が現在もグローバル企業により実施されているため、これを MSC が監視しています。MSC は ASC と連絡を取り、サプライチェーンとロゴの信頼性への影響を理解し、2023 年の次回の CoC 基準改訂時にこれを検討する予定にしています。